

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E132N004		英語科授業研究(中等) (Research in the English Language Classroom (Secondary Education))							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態						
選択	2	3	教育学部 令和2年度 以降入学生用		火4	日本語	英語		単独						
担当教員	氏名 麻生 雄治 E-mail yujiaso@oita-u.ac.jp 内線 7949														
授業の概要	この授業では、主に英語学習に関する評価方法を学び、特に中等学校の英語教員としてテストを作成する際に必要な知識と技能を身につけることをめざす。また、教育実習を終えて、自分の授業を振り返り、反省点や疑問点などを議論しながらよりよい英語授業の構築と指導力の向上をめざす。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7
目標1 観点別学習評価や言語能力評価等の評価方法を正しく理解し、指導にいかすことができる。															
目標2 英語テストに関する理論と作成法を理解し、適切なテストを作成できる。															
目標3 教育実習の授業実践を言語化して省察し、解決可能な課題を設定できる。															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									4	3	3				
授業の内容															
1 評価方法1. (ガイダンス) テストの意義や目的、テストの種類: 英語力とは何か、なぜテストをするのかを考える。また、さまざまな種類のテストを理解する。															
2 評価方法2. 構成概念、信頼性、妥当性、実用性、波及効果: テスト作成に必要な原理、原則を理解する。															
3 評価方法3. 英文和訳問題・総合問題の是非: 英文和訳問題や総合問題のメリット、デメリットを理解する。															
4 評価方法4. リーディング: リーディングのテスト問題を吟味し、(和訳に頼らず)読解力を問うテスト作成法を理解する。															
5 評価方法5. リスニング: リスニングのテスト問題を体験し、リスニング力を問うテスト作成法を理解する。															
6 評価方法6. スピーキング: スピーキングテスト問題を概観し、スピーキング力を問うテスト作成法を理解する。															
7 評価方法7. ライティング: ライティングテスト問題を吟味し、ライティング力を問うテスト作成法を理解する。															
8 評価方法8. 技能統合のテスト、思考力を問うテスト: テストサンプルを概観し、技能統合にあたるテストや思考力を問うテストの作成法を理解する。															
9 評価方法9. 思考力を促す発問のテクニック: 発問の種類と発問技術を理解する。															
10 評価方法10. CAN-DOリストの作成、使用、改善: 実際のCAN-DOリストを概観し、作成法や活用法を理解する。															
11 授業省察1. よい授業とは: 達人の授業を参考に、自分の授業を省察する。															
12 授業省察2. 導入: 帯活動のあり方など導入について省察する。															
13 授業省察3. 内容理解: 本文理解のため手立て(方法)について省察する。															
14 授業省察4. コミュニケーション活動: 練習、コミュニケーション活動のあり方について省察する。															
15 授業省察5. フィードバック: 誤りなどに対するフィードバックのあり方について省察する。(全体のまとめ)															
ラ イ ク ニ テ ン イ グ ブ	A:知識の定着・確認		ペア・グループによる協同学習、ピアレスポンス、学びの省察(ポートフォリオ)			工 夫 の 他 の									
	B:意見の表現・交換														
	C:応用志向														
	D:知識の活用・創造														
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修		配布資料を熟読し、リーディング課題に取り組む(15h)。												
	事後学修		学習内容に関連する課題に取り組む。(30h)												
	想定時間合計		45												
教科書	教科書は指定しない。 授業中に配布するプリント(資料+ワークシート)を使用する。														
参考書	『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編』(文部科学省) 『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 外国語編 英語編』(文部科学省)														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	毎回の課題	30%										
授業内の活動、発表、ポートフォリオ	20%											
期末試験	50%											
注意事項	資料として英語論文も扱うため、高次の英語力が求められる。受講者は、日常的に英語力向上に努めてほしい。											
備考	この科目は『地域創生教育科目』です。											
リンク	なし。 URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	公立高等学校教諭・指導教諭として、英語の授業のほか、学級経営、生徒指導、特別活動などの業務に携わった。											
教員以外の 指導に関わ る実務経験 者	なし。											
実務経験を いかした教 育内容	教師が経験する喜怒哀楽や教師という仕事のおもしろさを伝えることにより、また実際の授業モデルや試験問題などを活用することにより、オーセンティックな話題を提供する。											